

それでは、届け出順に発言を許します。17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） それでは、改めまして皆様おはようございます。17番、新国会の小川廣康でございます。

昨日は、我々議会に関することで、夜の8時42分ぐらいまで審議がずれ込みまして本当にお疲れさまでございました。また、ことしの夏は、7月の参議院選挙以降、記録的な猛暑の日が続きました。ようやく、しかし秋らしくなってきました。参議院の選挙においては、自民党の圧勝により衆参のねじれが解消され、決められる政治、そして実行する政策に拍車かけられるものと信じております。そんな中、5月の新藤総務大臣、そして8月末の石原環境大臣が来島され、現地視察を含め、市民との対話、そして、また市からの要望等を聴取され、島づくりの熱い思いが、対馬島民の熱い思いが両大臣に伝わったことが両大臣のツイッター等から伺えました。

市長におかれましては、今後さらに政治家としての力を発揮され、国とのパイプを強固なものにしなが、対馬市再生のために行政運営に最大の努力をされることを望むものであります。私も市民と市政とのパイプ役に努めながら、市民の声が行政に反映されるよう努力を重ねていきたいと考えております。

質問に入ります前に、昨日、提案されました補正予算の中から、私が一昨年から提案をお願いをしておりました、いわゆる新病院へのアクセスの関係、道路の問題ですが、これが予算づけをされておりますが、私は当初、県との協議の中で、本来ならば県道でということをお願いしておりましたが、市で予算づけがされておりますが、通告はしておりませんが、その中身についてお答えできればお答えしていただきたいと思っております。

さて、今回は、通告をしておりました組織機構の見直しの進捗状況についてと、学校用務員の任用替えについて、市長、教育長に所信をお伺いをしたいと思っております。

まず、第1点目の組織機構の見直しについては、今年3月、私の一般質問において、その時点では答申を受けた素案の段階であり、新年度になり区長会議、そして地域審議会など、機会あるごとに意見をいただきながら、5月、6月ぐらいには庁内会議を立ち上げ、委員会を重ね、年内には皆様に諮りたい。また、新出張所、いわゆる今の美津島、峰、上島の活性化センターが新出張所という素案になっておりますが、この出張所にどのような機能を持たせていくのかについても、その地域性があるのでそれらをじっくりこの上半期に組み立てる必要を感じている。それらで、年内に計画というものをたたき上げていきたい。その間、議会においても途中経過を踏まえ、報告をさせていただきたいと、答弁をされました。

しかし、もう9月です。ようやく8月の広報つしまにその素案が掲載され、市民からの御意見を募集されております。前回も申し上げましたように、この案件は市民生活に密着した行政サービスに係る大きな改革であります。現在の進捗状況についてお聞かせをいただきたいと思っております。

2点目の学校用務員の任用替えについてであります。この件については、本年度、技能労務職の学校用務員3名の職員が行政職に配置替えされ、来年度には退職予定者を除く全てを任用替えされると聞き及んでおりますが、その目的とメリットは何か伺います。また、今年度は3名の職員全てが教育委員会に配置替えされておりますが、今後もこのような考えで実施をしていこうと考えておられるのか。重ねて伺いをいたします。

時間の制約がございますので、市長、教育長の明快なる答弁を求めたいと思います。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） おはようございます。小川議員の質問に答えたいと思います。

冒頭、おっしゃられました、統合病院を予定をしておりますグリーンピアの地、それから樽ヶ浜までの540メートルを今、予定をしておりますけども、この区間、一昨年でしたか、小川議員のほうから、グリーンピアに病院を移すに当たっての懸念事項としてこの路線が上げられておりました。

おっしゃられた部分につきましては、国道からグリーンピアまでの路線道路が1本しかないという問題、それを災害時、本当どうするんだろうというふうな御質問だったと記憶しておりますけども、そのためにも、今回補正予算で測量費等を上げさせていただいておりますけども、迂回路としての道路、また雞知から西にお住まいの皆様が病院に通院をされる場合の利用される道路としてこの路線を想定をしておりますし、国道の混雑というお話も市民のほうから以前から上がっておりました。これらを分散させることによって解消していきたいという考え方で、これを組み立てて今おるところであります。

また、その際、県にお願いをするべきではないかというふうな、今までの経過の中のお話だったと思いますが、そういうことをやったらどうかという御提案が当時ございました。これらについては、振興局のほうともお話を進めておりましたけども、どうしても県のほうで取り組みは、この部分についてはできないというふうな回答が当時からあっております。ただし、私もは今回グリーンピアから樽ヶ浜を抜ける道路以外に、空港からグリーンピアに抜ける道路というものについては、県のほうで県道で取り組んでいただきたいということを今もずっと言い続けておるところであります。

どうか、そのことによりまして、北側から入られる方々が空港に寄られて新たな道路を利用して病院に出、そして樽ヶ浜から宮前を抜けることもできますし、グリーンピアから国道に戻って動くというふうなこともできるかと思いますが、そのようなことを想定して、今回計画費を上程をさせていただいているところあります。

また、先ほど冒頭に大臣の来島が、総務大臣、それから環境大臣のお話がありました。確かにお2人、お見えになられまして、それと市民の方々との意見交換というのを専らやっておられる

というふう感じております。市民の声というものを聞きながら、それをどのように反映させていくかということがやはりこれからのキーになるのかなというふう感じている次第でございます。

それで、通告がありました組織機構見直しのその後の進捗状況ということでございますが、既にこの計画の内容につきましては、議員の皆様にはお渡ししておりますので御承知いただいております。

まず、本計画策定の経緯からちょっとお話をさせていただきたいと思いますが、現在、市が取り組んでおります行財政改革の一つに市職員の定員適正化計画というものがございます。その実績を見ますと、計画を上回る数値で職員の削減が進んでおります。現状の組織機構では職員の配置が大変困難な状況となっております。このような状況下で、今後における行政サービスの提供及び重要政策や重点施策の実現を図る上で組織機構見直しの必要性が高まり、本計画の策定を進めているものであります。

現在までの周知の状況でございますが、先ほど議員が言われましたように、市民に対してパブリックコメントの募集につきましては、昨年12月から1月にかけて行っております。今年度におきましても周知徹底を図っていくために、各区長会議の折、また各町の地域審議会においても説明を行い、そして、おっしゃられたように市報の8月号、さらにはケーブルテレビにおいても計画概要というものを説明するとともに、対馬市のホームページにおいても皆様からの御意見募集の周知を行っております。9月20日までを募集期間としておるところであります。今後も市民への周知に関しましては、市民の皆様が十分に理解できるよう、ケーブルテレビや広報、ホームページ等、ありとあらゆる手法を組み合わせまして周知を図っていきたく考えております。

次に、本計画の策定状況ですが、新組織機構における各部署の業務内容等について、庁内関係部署における検討会議を実施している状況であります。今後におきましても、市民の皆様から御意見をいただきながら協議を重ね、計画案を策定し、計画案についてはあらかじめ議会の皆様へ御説明の上、12月議会での関係条例の上程を経て、来年4月1日の実施を目途としております。

計画では、各地域活性化センターの統合や教育委員会事務局などの一部本庁組織の配置変更、そして郵便局等への民間委託などにより、各出張所への市職員配置の廃止等が主な取り組みとなっております。また、本庁業務についても、島の今後の歩みを見通す中での組織内の改編にも着手するため、部等の整理も出てくるものと予想しておりますが、市民皆様に対する行政サービスへの影響を最小限とするよう取り組んでまいりたいと考えておりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

次に、2点目の学校用務員の任用替えについてでございますけれども、私と教育長でこれについ

ては答弁をさせていただきたいと思いますが、まず、学校用務員の任用替えの目的とメリットという問題がございました。

まず、目的につきましては、合併時より進めております行財政改革の一環であります、民間でできることは民間に業務を補っていただく、俗に言うアウトソーシングの取り組みの一つであります。この取り組みにつきましては、定員管理職員の有効な活用方法として、旧町時代にも運転手や保育士、用務員等から一般職への任用替えは行われていたものであります。また、この任用替えにつきましては、市財政に見合った適正な職員数への削減計画である第2次定員適正化計画に、単純労務などワークシェアリング可能な業務については嘱託職員等を有効に活用し、経費の削減と雇用の確保を図るとありまして、用務員の皆様に、任用替えにより一般職として業務を遂行していただくことで行政運営が円滑に行えるということが最大のメリットであるというふうに考えます。

さて、職員数削減の取り組みについてですが、平成25年度は第2次定員適正化計画の4年目に当たります。適正化計画での本年度当初の目標職員数の610名に対し、4月1日現在で590名、9月1日時点では586名と、目標を上回る減少数になっております。

なお、平成17年11月策定の行革大綱での最終目標職員数は450名ですので、さらに目標に向けての取り組みの必要があるという状況であります。

先ほど説明しましたように、職員数削減に伴う組織の見直しにも着手しなければいけない状況となっております。用務員の任用替えにつきましても、この組織機構の見直しを補完するものとして、職員組合との協議のもとに昨年度より取り組んでいるものであり、既に4月1日から学校用務員16名中3名が、任用替えにより一般職員として生涯学習課、中地区教育事務所、対馬図書館で業務を担っているところです。

このように組織機構の見直しを行っているところですが、定員管理上の正職員数には学校用務員や介護職員等の施設職員も含まれており、現在の職員数586名のうち用務員13名をはじめ、87名が施設関係職員であります。このような施設関係職員についても全体の削減計画に含まれていることから、その取り組みとして学校や保育所の統廃合または福祉施設等の民間への譲渡や民間委託など、民間でできることは民間に業務を補っていただく取り組みを行っているところです。

今回の学校用務員の任用替えにつきましても、このような取り組みの一つではありますが、現在、取り組んでおります組織機構見直しによる各部署への人員配置に対応するため、学校用務員から一般職員として、市長部局や教育委員会部局等で民間に委託等ができない業務を担っていただくことが今回の任用がえの最大の目的でありまして、メリットであると御理解いただきますようお願いいたします。

○議長（作元 義文君） 教育長、梅野正博君。

○教育長（梅野 正博君） 私のほうからは、学校用務員の任用替えについての教育委員会の対応を中心にお答えをさせていただきます。

平成25年4月1日付で3名の学校等用務員の任用替えを行い、現在の市職員の学校等用務員は13名でございます。年度末には定年退職となる職員が1名、早期希望退職の意向がある職員が2名っております。

教育委員会としましては、対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画に基づき、学校の統廃合を進めております。平成25年4月には4校の減、26年4月1日時点では、小学校がさらに1校、幼稚園1園の減となる見込みでございます。

学校用務員の任用替えを行うに当たって、用務員の不安を少しでも解消し、一般職へのモチベーションを高めてもらうため、意向調査の実施、それから延べ3回の説明会の開催、パソコン研修の実施、そして学校が夏休みの期間を利用して活性化センター、教育事務所等での職場研修、職場体験を行っております。学校等用務員に欠員が生じた場合は、今まで嘱託職員を雇用し、学校の維持管理や校内庶務をとり行っていますが、現在まで大きなトラブルの報告はあっておりません。

今後におきましても、事務引き継ぎを十分に行うなど学校との連携を図っていく所存でございます。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） ありがとうございます。

まず、市長、私、組織機構の見直しについては、3月にある程度具体的に質問をさせていただきましたので、その目的、進む方向については、私は別に異論を訴えているわけではございません。ただしかし、今までの進め方について、私は少し市長の、この進め方については少し違和感を感じておりましたので、今回再度質問をさせていただきました。

前回、3月の私の質問に対し、市長は今から、先ほど述べましたように、庁内でいろいろ協議しながら、計画を今年度の早いうちにつくり上げていくというようなことで答弁がなされておりました。今の答弁の中では、ことしの12月の議会でその条例案を提出をされようという計画のようでございますが、私が言いたいのは、この問題が市民にあまりにも浸透していない。

前回の私の質問に対して、市長はこのように申しておりますね。パブリックコメントを募集、これは昨年12月21日から1月21日の間につきましてこの素案に対するパブリックコメントを募集して、さまざまな御意見をいただいております、いうふうな答弁がなされました。しかし、私がこの締め切り後に対馬市のホームページでパブリックコメントを検索してみますと、たったの1件しか募集がございません。そして、その後についても、私たち議会に対しても具体的

にどういう方向で進めようとしているのかというのが全く窺えない。私はこの件について非常に心配をいたしております。

特に、新しい出張所に素案の中ではなっております、美津島、峰、上県が新出張所になるわけですが、そこには、この素案の中では結局窓口業務だけ、俗に言う、今活性化センターが担っております地域支援課というものが廃止をされるような素案になっております。ですから、この素案のまま計画を立てていくということになれば、おのずとそうなるんでしょうが、今、庁内会議の中でどのようにすり合わせておられるのか。それが全く私たちには見えてこないというのが非常に住民としては心配をいたしております。

私は、前回も申しましたように、確かに人口は減っておりますし、そして来年度から普通交付税が段階的に削減される予定であります。議会としても要望は出しておりますが、そういう削減されることが強いと思います。ですから、この方向については、私は何も異論を唱えてるわけではないんですが、その内容とやり方について、もう少しやっぱり市民に優しいやり方があるんじゃないですか。

先ほど言いましたように、今回の市報においても初めて掲載をされております。御意見を伺います。私は、特に今、5出張所が、現出張所がありますが、これが段階的に廃止をされていくという素案の中での計画です。計画がどうなるかわかりませんが、ですから、その地域の方々には、少なくとも市から出向いてでも計画を樹立する前に、市としてはこういう計画を持ってるんですが、ということをおはやはり投げかけるべきなんじゃないでしょうか。ホームページでパブリックコメントを募集し、市報で皆様方の御意見をお伺いします、締め切りは何月何日までですと。これが果たして市民の意見を吸い上げる姿勢と私は言えるのかなと考えております。

ですから、私がもう一つ言いたいのは、市長が議会で答弁されたことについては、やはり職員もそれに向かって進めていかないと、時間はどんどんたってしまいます。12月の定例会にいきなりこの計画案が出されて、果たしてどうでしょうか。皆さん、議員が納得するのでしょうか。

そして、私がお伺いしたいのは、昨年の12月の定例会のときにこの素案が私たちの議席に配られておりましたが、何もこの中身については議論したことはございません。もちろん私たち議員も悪いんですが、確認しますが、この素案というのは、この改選で議員になられた方々にはお配りでしょうか。まず、その点について1点確認をしておきたいと思いますが。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 新たな議員さんには、対馬市組織計画（仮称）素案を配付をさせていただいておることです。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） それならわかりました。ですから、市長、ちょっと確認します

が、今から素案が、どういう素案、計画案がどういう計画案になるか全く私たちには見えません、もうこの素案だけです。いつごろ計画の案というものを我々議会のほうに示される予定なのか、およその時期についてお尋ねしたいと思います。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 12月議会の当然前に、皆様方に一回お示しをしたいというふうなつもりで内部的な調整を、調整つていきますか、協議を進めておるところであります。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） そうですか。いや、これやっぱり非常に大きな組織改革であろうと思います。私さっき、何回も言いますように、進め方としては間違っていないと思うんですよ、方向づけは。しかし、これを進める手順が私は少しおかしいんじゃないのかって言ってるんですよ。

特に、豆敷、佐須、佐賀、仁田、琴、5の出張所の方々に関係する地域の方々の計画の中では段階的に、もちろん計画案も見ないから何とも言えないんですが、今私が申し上げてるのは、この素案に基づいて質問してることをお許しいただきたいと思いますが、そして、市報の中で記載されてることをもとに質問させていただいてることをまずお許しいただきたいと思いますが、特に現出張所の関係する地域の方々、段階的に廃止をされていく。今、市長は郵便局とかいろいろ言われました。その計画、交渉が今進んでるのかどうか。その点についてちょっと確認をしておきたいと思いますが。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） こちらとしましては、郵便局とかJAさんとか、さまざまな公共的機関と交渉をしていきたいということですのでずっと申し上げてはおりますが、正式な協議会とかいう形は、まだとってはおりませんが、現在の5つの出張所が今後どのような形で民間とか公的団体に移譲されていけるのかというのを今、職員のほうで模索しております。

そして、30近い郵便局が島内にはございます。今までの出張所よりも近いところでそのような住民サービスが受けられる体制をとるためには、全局とは決して申し上げられませんが、どのような局数になっていくのかということで、市民の皆さんのサービス低下を幾らかでも和らげていきたいというふうな考え方で今、内部的に詰めておる段階です。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） まだ内部的な今、検討段階ということでございます。そうしますと、まだ計画の案というものがまだ出てないような気がするんですが、ただ、さっきから私言いますように、この中では、例えばいいこともあるんですね。教育委員会の本庁を中央に、学校教育をそれぞれで充実させる。そして、農業委員会も、今、上県ですけど、中央に、峰にという。

私は、農業委員会については峰よりもやっぱり本庁に持ってくるべきじゃないのかなと。前回、私もいろんな農業問題で質問させてもらいましたが、遊休農地を今後どうするのかということは、やはり、農林水産部との特に連携が必要ですから、そこらあたりが妥当ではないのかなと。もちろん今、農業委員会も事務局は上県ですが、ほとんど委員会は峰で開催されてる、中央で開催されてる状況ですので、私はあえて峰に事務局を持ってくる必要があるのかなという、ちょっと少しそういう危惧もいたします。

だから、そういう、特に教育委員会とかそういうものは、目に見えていいものは、前回も言いました前倒しして進めてください。しかし、この全体の計画については、やはり地域住民にもう少し説明をしてある程度納得をしてもらわないと、痛みを分かち合うことは必要ですから、それ改革することについては全部が全部反対じゃないと思うんですよ。ですから、中身を説明して、今後対馬市がこういう状態こうなりますから、こういう計画を持っておりますからぜひ御協力をしていただきたい。そして、その手当はこういうふうにいたしますという、それをもって説明をしないと、計画を立ててしまっ、段階的に出張所は廃止をいたします。美津島、峰、上県は活性化センターから出張所にいたします。窓口業務だけです。じゃ道路のこと、いろんな生活の中で出てくるいろんな問題をじゃどこに持っていけばいい。一々、美津島の人が本庁まで行かなくちゃいけないのか。そういう不便さはあるんですが、それは今後の人員配置でクリアできる問題であると思うんですが、進め方、市長、もう少し市民に優しい改革の進め方ができないですか。どうしてもこの12月議会に条例案として出すおつもりですか。腹づもりをお聞かせ願いたいと思いますが。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） できますれば、来年の4月1日に向けて物事を動かしていきたいというふうに思っております。小川議員がおっしゃられるように、市民に優しい行政のあり方というのはすごく大切だというふうに思っておりますし、どのようにすればそれがよいのか。確かに、当面の問題として優しさが欠如してるんじゃないかという御批判は、今のやり方がそうなのかもしれません、できれば来年の4月に向かってそのあたりの部分について払拭できる形で物事を進めてみたいとは当然思います。

ただし、私どもどうしても区長会議、それから地域審議会の場合等々で皆様に説明をさせていただくわけですけども、そこの中で委員さん、委員さんっていいですか、そこに出席されてる方のほうから答えが出てきた中には、お互いもう我慢する時代が来たのかもしれないというふうなお言葉をもらいました。素案としては大変きつい素案だと確かに思います。そのあたりについて、そこに踏み込まざるを得なくなった、今、日本全体の状況というのも理解をしていただいた中でそういう言葉だったんだろうと思いますけども、どうか、そのあたりをきちんと説明をしてい



くことにこれから努めていきたいというふうに思います。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） 意思是固いようですが、もう、それならそれならで、また議会としても議論を進めていきたいと思ひます、私たちは私たちに。ですから、私がさっき言ひますように、今の活性化センターについては若干縮小されるけど、痛みを分かち合わなければいけないのかなと私個人は思ひておりますし、そういう市民も多分いらっしやると思ひます。しかし、何回も言ひます。豆殿、佐須、佐賀、仁田、琴、この出張所を段階的に廃止するという計画ならば、私は足を運ぶべきですよ、市のほうから。私は、そういう姿勢が財部市政には見えてこないし、市長の答弁に対する職員の動きが鈍い。市長がこの議会で決意を新たに機構改革を答弁したときには、やっばそれに向かつて私は努力すべきですよ、職員も。きつい言ひ方かも知れませんが。

市長も前回、私の答弁にこういう答弁をされておりますよ。審議会など機会あるごとに御意見をいただひていきたいと思ひておりますし、その地域の方から申し出があれば、こちらからどんどん出ていって説明していきたいと。これは逆ですよ。こういう市が、特に該当の活性化センターの部長にもお願いしておきたいと思ひんですが、やはり自分の地域の出張所が廃止に向かつて計画が立てられようとしている中で、やはり地域説明会なり、そういうものを私はやるのが優しい市の動かし方じゃないのかな。すればわかってくれる人もいらっしやると思ひます。それをして、やるならばやっばいただきたいということをお願いをしたいと思ひます。今からでも、12月定例会まであと3カ月ですが、まず、こちらから出向いていって説明会をする気が市長のほうにあるかないか、お聞かせ願ひたいと思ひますが。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 市としては、痛みを伴う区域につきましては、出ていく考えというのは持ち合わせはしております。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） だから、そういう気持ちがあるならば、私はもっと早く説明会を開催していただきたかったなと思ひております。私は、個人的にはそういう出張所の地域の出身の議員じゃありませんから、本当にそこまでの痛みっていいですか、心情はわかりません、正直言ひまして。ただ、私は美津島の活性化センター管内の地域の人間ですから、ただ、美津島活性化センターが出張所になって、地域支援課の機能がなくなるということには、それは少し寂しい気もいたしてあります。今、人口も減ってきてあります。やむを得ない改革だと自分では住民に対しては説明をしたいと思ひますが、やはり今の活性化センターが出張所になったとしても、じゃ道路の問題、そういう問題を、じゃー々、美津島だったら本庁のほうに電話したり、出向い

ていって相談しなきゃいけないのか。そこらあたりが全く見えてこないものですから、前回からも言っておりますように、出張所にはどういう機能を与えるんですかというものを質問をしてるわけです。

ですから、前回の3月の私の質問以降、市長も議会の皆様方にお諮りしてということでしたから、いつこの計画は、計画案が出てくるのかなと思っておりましたら、いきなり市報のほうに抜粋で出ております。もちろん計画が出てからじゃないんでしょうか。済みません、ちょっとそれ確認します。まだ、計画はできてないということですかね。計画案も。それはわかりました。それはそれとして、ですから、そういう私は進め方をさせていただきたいなと思っております。3月から、市長が答弁されてから忙しいでしょうけど、別に市長が行かなくなつて各活性化センター、総務部関係でできるわけですから、そのあたりはしてほしかったなど。今からでも遅くないと思います。断行されようと思うならば、やはりそこらあたりを私はやっていただきたいなと思っております。もうこれが最後にいたします。私の今の質問に何かコメントがあればお聞かせ願いたいと思っております。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 先ほど申しましたように、来年の4月を目途とした計画でございますので、そこが市民の皆様浸透する形をとれるよう、今から、日にちは少のうございますけども、しっかり取り組んでいきたいと思っております。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） よろしくお申しします。

それで、1点目の質問を終わらせていただきますが、先ほど、次の任用替えについては、明日ですか、小島議員も同じような内容で通告されております。中身は大体一緒じゃないかなと思うんですが、教育長に一つお尋ねをしておきたいと思っておりますが、今13名の正職の用務員さんがいらっしゃる。これは来年、この年度末に1名が退職予定者、定年退職者、2名が依願退職の予定と、先ほど伺いましたけど、じゃ今、ほとんど嘱託用務員で今、補助をしておりますが、今後もちろん正職の欠けたところには嘱託で賄っていくという基本的な考え方にはお変わりございませんか。

○議長（作元 義文君） 教育長、梅野正博君。

○教育長（梅野 正博君） 今、議員がおっしゃられたとおりでございます。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） 先ほど、この任用替えについては、市長のほうからる目的、メリット等が答弁がありましたのである程度は理解できますが、私はどうも経費節減について、例えば今の学校用務員さんが、もう教育委員会部局のほうには、今3名配置されておりますので、

あと何名配置されるか。あるいはまた、市長部局のほうに多分行かれるだろうと思いますが、果たして任用替えして、配置替えして、またそこで嘱託を雇用する。どういう経費的なメリットが出てくるのかなという、ちょっと単純な疑問があるんですね。そして、来年の、これずっと今の、今年度末予定、3名が退職予定ですが、残り10名になりますね。10名の用務員さんがいらっしやいます。段階的に結局定年を迎える方もいらっしやいます。ただ、これを自然減でどうしてできなかったのかなという単純な疑問があったんですが、先ほどの市長の答弁では、市長部局に民間委託できない部分を正職で賄っていかねばいけいから、それをこうするんだという、私はそれ理解したんですが、それは教育委員会と市長部局とのすり合わせの中で、今年度からこういうやり方がされてると思うんですが、自然減でやっていこうという話はなかったんでしょうか。まず、それを確認。

○議長（作元 義文君） 教育長、梅野正博君。

○教育長（梅野 正博君） それができれば一番良かったと思うんですけども、結論から申しますと、退職等で人員が減っていくよりも学校統合による学校の数、幼稚園の数のほうが少なくなっていくということで、自然減ではなかなか難しい面がありました。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） そうしますと、今度はまた市長のほうにちょっとお尋ねですが、例えば今の用務員さんが市長部局のほうの一般職に配置された。そして今、配置されたところに、今、嘱託職員で雇われてる方々もいらっしやと思う、部署じゃなくて。その人たちが結局あふれる、あふれるっていったら言葉が悪いんですか、再雇用ができなくなるケースというのも出てくる可能性もあるということになるんでしょうか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 頭の中の整理がちょっとできん部分がありますが、今のおっしゃられてる部分っていうのは、再雇用ができなくなる可能性はあると思います、それについては、当然だと思います。全員の身分というのを永年保障してるわけでもございませんし、そこについては御容赦いただきたいと思います。極力そのあたりについてもどうかしていきたいという思いはあります。そして、それ以上に職員の減の部分の激しゅうございますので、それらとの見合いの問題も当然あります。ただし、御質問がありました、そうすると今の嘱託職員さんの身分はどうなるのという話になれば、どうしても今の、最初言ったような答弁になろうかと思えます。

○議長（作元 義文君） 17番、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） ありがとうございます。あと、もう2分です。

この任用替えについては、職員組合との協議の中でお互い理解と申しますか、もう仕方ない、妥協されたんだろうと思いますが、やはりこの任用替えによる退職をやむなくされた、やむなく

されたっていったらおかしいですか、まず、これを機会に定年前に職を辞するような方もいらっしゃるように聞いております。ですから、よくよく考えてやってほしかったかなと思いますが、この件については、また小島議員が同じ通告をしておりますので任せたいと思いますが、市長くれぐれも組織機構、もうくどういようですが、もう私はこの件についてはもう今後一切一般質問をいたしませんので、12月定例会に条例案を出されるならば、その前にしっかりと市民に対して説明し、そしてある程度の納得を得られてから上程されるように希望いたしまして、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（作元 義文君） これで、小川廣康君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。再開を11時5分から行います。

午前10時50分休憩

午前11時05分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

次に、10番、波田政和君。

○議員（10番 波田 政和君） 皆様、おはようございます。ただいま指名いただきました、改革つしまの波田政和でございます。

昨日の本会議、大変お疲れさまでした。提案案件も多い中、時間の都合で質疑も十分にできず、私は上程案件のあり方も検討していただきたいと、このように考えております。

質問に入る前に、先般の6月の定例会におきまして、市長への御質問の際、お願いしておりました対馬南部地区における東回り海岸道路の伐採進捗状況について確認をしたいと思っております。

私は、この南部地区の東回り海岸道路、主として安神峠から浅藻地区までの間、軍用道路として何十年も放置されてきた現状を踏まえ、少しでもこの路線を利用する住民の感情を和らげるためにも、道路の両端から生い茂る雑木の伐採を行い、道路を明るくしていただきたいと要望しておりました。この案件につきましては、市長は、さきの議会でこの道路を管理する上級官庁へ伐採作業の働きかけをしていきたいと、このような答弁であったように思います。現在、どのような進捗状況にあるのか御答弁をよろしく願いをしておきます。

それでは、通告に従いまして質問に入らせていただきます。

まず、はじめの質問であります。対馬島内の基幹産業、第1次産業の低迷に対する行政の取り組み方についてお尋ねをいたします。

対馬島内の基幹産業である第1次産業が年々衰退していく状況の中、これといった市の対策や効果が見られません。